

OKINAWA オキナワ SUSTAINABLE サステナブルツーリズム TOURISM

観光通りを歩いて、
未来を考える

2026 2026
1.9TH / 1.27TH

観光地における防災まちづくり in 国際通り

時間 13:00 - 18:00 会場 てんぶす館 4Fホール 金額 3,300円(税込)

人数 定員 30名 内容 フィールドワーク/グループ研修

DAY TRIP PLAN

研修向け
モニターワーク
プログラム

観光地から学ぶ、サステナブルツーリズムと防災

本プログラムは、観光地を「訪れる場所」としてだけでなく、まちづくりの視点から
「学び、共感し、未来を考える場所」として捉え直すサステナブルツーリズムプログラムです。

こんな方におすすめ

- 観光・まちづくり・地域活性に関わる方
- 防災や減災を「まちづくり」として考えたい方
- 行政・観光事業者・地域活動団体の方
- サステナブルツーリズムに関心のある方

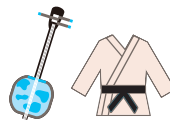
令和7年度 沖縄県「サステナブルツーリズム推進事業」



POINT 01

地域発展に貢献

観光を通じて地域の魅力や課題を知り、防災やまちづくりの視点から地域の持続的な発展につながる行動を考えます。



POINT 02

文化の尊重

国際通りや周辺地域に息づく歴史・文化・暮らしに触れ、それらを消費するのではなく、理解し、尊重する姿勢を育みます。



POINT 03

環境への配慮

環境や都市環境への負荷を意識しながら、防災・減災の視点も含め、観光と環境が両立するまちづくりを考えます。



SUSTAINABLE PROGRAM

観光があることで、まちはもっと安全で、もっと豊かに

国際通りの歴史や観光資源を巡りながら、まちづくりにおける防災の仕組みや地域の力(人・文化・つながり)に触れ「観光×防災」が循環する新しい観光のあり方を体験します。



STEP 01 | 防災と観光を考える STEP 02 | まちの歴史と防災を巡る STEP 03 | 未来へつなぐ共創アクション

観光地が抱えるリスクと可能性を、防災の視点から学びます。「防災＝非常時」ではなく、日常のまちづくりとつながるテーマとして理解します。

戦後復興から現在まで、国際通りの歴史をたどりながら、その中に組み込まれてきた防災の知恵や地域の仕組みを実際に歩いて体感します。

フィールドワークの気づきをもとに、自分の専門性や立場を活かして「私たちが街のためにできること」を考え、グループで共創アクションを提案・共有します。

プログラム	①座学／②フィールドワーク／③グループワーク研修
散策ルート	国際通り(てんぶす館前)／やちむん通り／平和通り商店街／希望ヶ丘公園
ワーク特徴	正解のない問いを考える対話型・参加型ワーク／観光×防災の未来へつなぐ「グループ共創アクション」

PROGRAM POINT

元消防士とともにまちづくり視点で国際通りを巡る

観光地として発展してきた国際通りの歴史や文化的資源に触れ、元消防士の防災視点での解説を交えたフィールドワークを通じて、観光資源を防災資源として捉え直し、観光地であるからこそ生まれる「安全で、より豊かなまちの循環」を参加者自身の視点で考えるきっかけを提供します。

講師／ファシリテーター
合同会社MIYA CREATE



合同会社MIYA CREATEは、沖縄県那覇市に本社を構える企業で、地域課題の解決を目指し、防火・防災支援事業と再生可能エネルギー事業を展開しています。元消防士の経験を活かし、官公庁や企業向けにサービスを提供。

SDGs専門家
岩村 俊平 氏



大学院で環境と防災を学び、建設コンサルタントで18年間、生物共生型港湾やサンゴ移植に取り組む。その後、環境コンサルタント・SDGs専門家として活動。現在、大衆コンサルタントでサステナブルMICE、水産に関する海業等にも取り組む。

2026 2026

1.9 / 1.27 TUE

会場 てんぶす館4Fホール 人数 定員 30名

時間 13:00 - 18:00

金額 3,300円(税込)

申込フォーム
こちらのQRから



ご注意 モニターツアーとなっておりますので、アンケートへのご協力をお願いします。雨天時はルートの変更及び室内のみで開催します。悪天候に関するプログラム催行に関しては延期または中止とさせていただきます。また、プログラム中に撮影した写真等をPRに使用させていただきます。予めご了承ください。

お問い合わせ ○企画・運営：株式会社18project ○営業時間：平日9：00～17：00 ○E-mail：contact@sustainable-tourism.jp 担当：山城